

日本列島つまみ食い？



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

これを書いている6月半ばではカラ梅雨という天候の状況ですが、なんとなく今年の香川県は水不足が心配されるように思われますね(その後、天候が変化するのを願うばかりです)。今回は「LCC (Low Cost Carrier)と地方」について考察してみました。

LCCとは「格安航空会社」のことで、コスト削減を果たし、低運賃を売り物にしていますが、それと引き換えに、例えば欠航時の他社便への振替はNGであるなど、利用者いくつかの制約を強いる側面もあります。最近では国内路線にも「Peach」や「Jetstar」など、新興の会社が出現し、選択の余地が広がっています。

当方は、日本のあちこちにヒアリング調査に行きますが、西日本～東北の仙台あたりまではJRで行くことが通常です。しかし、この度、1ヶ月後に北海道に行くことになり、LCCを視野に入れて移動手段を検討してみました。以前は大手の「JAL」、「ANA」を利用して高松／羽田／新千歳空港の乗り継ぎでしたが、平日にJR高松駅8:20発の空港リムジンバスで出発してANA便を「乗継旅割」で利用の場合、新千歳空港までの片道運賃の合計は約3万円、所要時間は約5時間、これが7:45発の高速バスで三宮に出て、神戸空港から「SKYMARK」を利用した場合は、「WEB割21」で約1万3千円、約6時間という結果になりました。時間もさほど違いはなく、ずいぶん安く行けるものですね(もちろん、双方とも残席があった場合に限りですが)。

このように現在、地元空港にLCCが就航していない地方在住の身にあっても、ケースによってはLCCが有力な選択肢となることがわかりました。では、どのような場合に利用にまで至るのでしょうか。まず利用目的ですが、「出張・用務」については、LCCの恩恵を確実に受けるためにはかなり早期に旅程を概ね確定させておかねばならず、運行の遅延もかなり生じることから、通常では使いづらいですね(出張の帰りに使えるかもしれませんが)。「個人旅行」についても、わが国の現役世代は概ね忙しい身ですので、ほぼ同様に考えることができるでしょう(「変動運賃制」を採用しているPeachなどの場合は多少状況が異なりますが、多くの利用者が見込める日や便では運賃が跳ね上がります)。

次に利用主体ですが、必ずしも利用しやすい時間帯に運行されているというわけでもない、ある程度時間にゆとりがあり融通の利く方でないと利用しにくいですね。ただし、「高齢者」については、健康上多少の問題を抱えている方は、その簡素なサービスに不安を感じるかもしれません(そして、大手でもANAの「シニア空割」などが利用できます)。

また、「団体旅行」についてはどうなのでしょう。LCCを利用した旅行商品はH.I.Sなどから発売されているものの、地場の旅行会社に勤めている方

に伺ったところ、「取扱いしても利益が薄く、欠航時にも対応が悪いのでお客様からのクレームが怖い」ということでした。すると、団体旅行については及び腰にならざるを得ないわけですね。結局、LCCを利用するのは、「低価格志向で、健康であり、かつヒマのある個人(グループ)」が中心となるのでしょうか。

このように、意外に利用しにくいことが判明した現在の状況ですが、LCC各社は関西空港、成田空港を中心に、路線網をさらに拡充する計画を表明しています。もし今後、地方にあってもこれらへの直行便が多数就航するならば運賃、所要時間、利用機会とも、大手の独占状態よりも劇的に改善することが期待されます。そして、さらに大都市ハブ空港を経由しない、地方空港間の直通路線網が充実すれば、LCC利用によるこれまでにない旅行パターン、例えば、「北海道の雪景色と春の瀬戸内海クルージング」とか「沖縄そばと讃岐うどんの食べ比べ」とかをテーマとした異色のコラボが実現できるかもしれません。まさに「日本列島のおいしいところをつまみ食い」するような感覚で旅行をする状況が出現するのでしょうか。

しかし、100席程度の小型機材を使用しても、国内ハブでもない地方空港にまとまった国内需要を恒常的に集められるとは考えにくいので、やはり海外からLCCを使って来訪した観光客頼みになるでしょう。そして、そのような海外客もまず大都市に魅力を感じているのが通常ですので、現実的には「大都市に加えて、北海道、沖縄、九州、四国などの遠隔地方のごく一部をピンポイントで訪れる」というカタチの旅行パターンがより多く選好されることでしょう。

いずれにしても、LCCがわが国に浸透することによって、「もたもた周遊型の観光をするぐらいなら、かなり離れた地点間をすっ飛ばす」というパターンが国内(個人)旅行において盛んになるのかもしれませんが。さて、そうなると、観光についての態勢も様変わりしそうですね。これまでは、近隣地域が一丸となって、旅行者の不便など顧みず、面的に散在した地方の良いところを漠然とアピールする手法が一般的に採られてきましたが、そんなことに終始しては、よほど「通(痛?)」の客しか掴まえることはできません。具体的に短時間で実行可能なことを示してやらねば。

そこで、例えば、北海道と香川県の関連業者や団体が連携し、双方の一押しとする観光やアクティビティを設定し、そこへLCCに接続して低運賃でストレスなく往復できる公共手段を確立する、とかまで持って行かないと。こうなると、昔ながらの離島や山間部へのアプローチはかなりキツイですね。あるいは、空港発着の「格安レンタカー」を充実させるのも重要ですね。しかし、一方で、海外客を乗せてきたLCCで、地方空港から海外旅行に向かうヒトの方がより増加するのかもしれないね…。

NEWS

1

「第2回みとよ水フェスタ2013」を開催

三豊市上下水道工事業
協同組合

三豊市上下水道工事業協同組合(白川忠澄理事長)は6月9日、三豊市市民交流センター(三豊市豊中町)で「第2回みとよ水フェスタ2013」を開催しました。

ステージイベントとして、和太鼓・ダンス・よさこい連などを、またホールでは水道週間に併せて習字やポスターなどの展示を行いました。

屋外では、節水コマの無料配布・水道資材展示・健康相談コーナー、水道パイプで水鉄砲作りの他、うどん・黒にんにくカレーなどのバザーなどが行われました。

水鉄砲作りに集まった子ども達は、組合青年部の会員に教えてもらいながら各自で水鉄砲を作製し、夢中になって遊んでいました。

白川理事長は「今年の水道週間のスローガンは『復興の未来と生命(いのち)照らす水』です。蛇口をひねるとすぐに水が出てくるという便利な生活の中で、忘れがちな水の大切さ、水のありがたさをこのようなイベントを通じて、もう一度見直すきっかけにしてもらいたい」と話されていました。



▲ステージイベント



▲野外イベント・水鉄砲

NEWS

2

「あじストーンフェア2013～敬承～」
を開催

讃岐石材加工協同組合

6月8日、9日にサンメッセ香川(高松市)において、讃岐石材加工協同組合(漆原憲和理事長)主催「あじストーンフェア2013～敬承～」が開催されました。

庵治や牟礼を中心に石材業者など約160社が参加、伝統の技術で加工した商品など1,700点が出展されました。

今年は「スマート墓石コンテスト」が新たに企画された他、恒例となっている「伝統工芸士展」「石匠庵神レムジアショー」やセミナー、講演会などが開催され、両日とも石材関連業者や親子連れらで賑わっていました。

また、庵治石の採掘の現地を見学できる「庵治石大丁場見学ツアー」も実施され、多くの人々が参加していました。

中央会青年部も昨年に引き続き、会員組合事業のPRを目的にブース出展を行い、香川県板金工業組合、香川県印刷工業組合、高松丸亀町商店街振興組合の3組合が参加しました。アッシュトレイなどの銅板小物や、讃岐の風景を描いたポストカード、商店街オリジナルの土産品などを販売した他、庵治石に直接プリントした石板を展示しました。



▲スマート墓石コンテスト



▲青年部ブースの様子

中央会だより 1

平成25年度通常総会を開催

本会は6月6日、高松国際ホテル(高松市)において会員組合等の代表者ら120名並びに来賓多数のご出席のもと、平成25年度通常総会を開催しました。

提出議案はすべて原案どおり承認可決され下記の9名の方が新たに常任理事及び理事に選任されました。

- 第1号議案 平成24年度事業報告書並びに決算書承認の件
- 第2号議案 平成25年度事業計画並びに収支予算承認の件
- 第3号議案 平成25年度会費承認の件
- 第4号議案 平成25年度借入金残高最高限度額承認の件
- 第5号議案 役員一部辞任に伴う選任の件



▲挨拶をする国東会長

常任理事	大倉 健一	香川県農機具商工業協同組合・理事長
常任理事	川畑 政廣	香川県タクシー協同組合・理事長
常任理事	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合・理事長
理事	田中 邦彦	香川県食糧事業協同組合・理事長
理事	香西 幸夫	香川県建築事業協同組合・理事長
理事	岡 隆夫	香川県中古自動車販売商工組合・理事長
理事	坂本 智	香川県屋外広告美術協同組合・理事長
理事	高松 斎	小豆島手延素麺協同組合・理事長
理事	森 茂	香川県造園事業協同組合・理事長

議案審議終了後、国東会長より「今年は国の緊急経済対策として、全国のものづくり中小企業約1万社に対して、上限1,000万円の補助金で支援する総額1,007億円の補正予算『ものづくり補助金』が組まれました。本会をはじめとする都道府県中央会が地域事務局を担当しますが、ものづくり中小企業の試作品開発や設備投資支援を通じて、地域経済の活性化を図るために、その責務を果たしてまいります。また、本会青年部は、設立以来初の『中央会青年部まつり』を11月2日に開催します。地場産業をはじめとする各業界のPRを行う技能の実演や展示・販売などを行い、次代を担う県内の子ども達に体験型ワークショップなどで、働くことへの興味をもって欲しいとの願いを込めた催しです。なお、本会は今後とも協同組合等の中小企業連携組織を支援する唯一の専門機関として県内中小企業の振興・発展のために尽力します」と挨拶しました。

続いて来賓を代表して香川県知事浜田恵造様、四国経済産業局産業部長藤澤清隆様、香川県議会経済常任委員長大山一郎様より祝辞を頂きました。会場を移動しての懇親会では、商工組合中央金庫高松支店長堤三様の乾杯の発声により、和やかな雰囲気のもと会員等の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。



▲総会会場



▲懇親会の様子

中央会だより 2

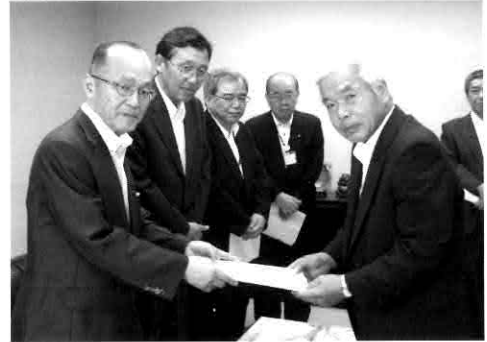
雇用の維持と求人の確保等に関する協力要請

6月5日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、雇用の維持と求人確保等に関する協力要請がありました。

本県経済は、持ち直しているものの、欧州債務危機など厳しい変動や、中国をはじめとする新興諸国との国際競争により、先行きが不透明な状況にあり、本県の雇用情勢に関しても、持ち直しているものの、厳しさが残っております。

今回は、このような状況を踏まえ、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対し地域経済の維持・回復に向けた雇用対策を推進するため、雇用の維持と求人確保について協力を要請するものです。

つきましては、会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力をお願いいたします。



▲要請を受ける谷野専務理事(右)

- (1)雇用の維持と求人の確保について
- (2)正社員としての雇用の確保について
- (3)新規学卒者の採用枠の拡大について
- (4)働きやすい就業環境の整備について

お知らせ

中小企業退職金共済制度について ～独立行政法人勤労者退職金共済機構～

中退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき中小企業の振興と従業員の福祉の増進を図ることを目的とした退職金共済制度です。

詳しくは、香川県中央会総務企画部(TEL:087-851-8311)にお問い合わせ下さい。

働くみんなに、
大きな安心。

中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業にご利用いただいている国の退職金制度です。

中退共 CHU TAI 共 K Y O
小企業 退職金 共済制度

安全

国の制度だから安心
新規加入や掛金を増額する場合、
掛金の一部を国が助成します。

有利

掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単

社外積立で管理も簡単
納付状況や退職金試算額を
事業主さんにお知らせします。



詳しくはホームページをご覧ください。

中退共

検索



(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

FROM 青年部

平成25年度通常総会を開催

6月18日、本会青年部はオークラホテル高松(高松市城東町)において青年部会員44名と来賓多数出席のもと、平成25年度通常総会を開催しました。

総会では、土居正明会長より「円安によるコスト高もあり、地方の中小企業は未だ厳しい状況にある。本会青年部組織のネットワークを通して、ビジネスチャンスを会員の皆様に提供していきたい」との挨拶がありました。また、11月2日(土)にサンポート高松にて開催する「中央会青年部まつり」にも触れ「このイベントを通して、各青年部の振興、業界の発展が図られることを期待しています」と述べました。

谷野克明本会専務理事挨拶の後、議案の審議が行われ平成24年度事業報告、決算報告並びに平成25年度事業計画、収支予算についてなど、全議案が満場一致で承認されました。

続いて、ご臨席を頂いた来賓の皆様を代表して、四国経済産業局産業部長藤澤清隆様、香川県商工労働部長伊勢野正憲様、香川県議会経済常任委員長大山一郎様よりご祝辞を頂きました。

総会終了後は懇親会が開かれ、青年部顧問鎌田守恭様のご祝辞の後、㈱商工組合中央金庫高松支店長堤三一様に乾杯のご発声を賜りました。

懇親会では、新たに青年部に加入した3組合の方々の紹介が行われる等、和やかな雰囲気のもと、情報交換とともに会員相互の懇親を深め、盛会のうちに終了しました。

小企業回



▲土居正明青年部会長挨拶



▲総会風景



▲新規加入組合紹介

FROM 青年部

全青中通常総会(於 松山市)へ参加

6月28日、道後プリンスホテル(松山市)において全国中小企業青年中央会平成25年度通常総会が開催されました。当日は全国から約300名が出席、本会からは土居青年部会長をはじめ11名が出席しました。

総会に先立ち開催された全国代表者会議では、それぞれの青年中央会が抱える問題、対応策等についてディスカッション形式での話し合いが行われました。

通常総会では、平成24年度事業報告、決算報告並びに平成25年度事業計画(案)、収支予算(案)等を審議、全議案が満場一致で承認され、続く懇親会では終始和やかな雰囲気のもと、全国各地の会員とそれぞれ交流を深めることができました。

また会場では、四国ブロック青年中央会による「四国のいいもの・うまいもの」物産展も開催。四国4県会員組合が自慢の品々を販売し、参加者から好評を得ていました。



▲全青中総会の様子

夏季の節電・省エネルギー対策のお願い ～四国経済産業局～

今夏、四国電力管内では、安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しですが、大規模な発電所のトラブルが発生した場合、安定供給ができない可能性が懸念されていますので、7月1日から9月30日までの平日(8/13～15を除く)、9:00～20:00までの間、節電をお願いします。

節電メニュー(例)

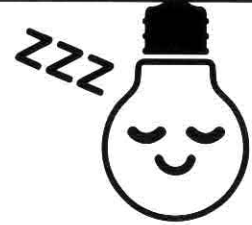
<空調>

- 室温28℃を心がける。(設定温度+2℃の場合 節電効果10%)
- “すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげる。(節電効果10%)
- 無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。(節電効果50%)

※熱中症にご注意下さい。適切な室温管理や水分補給に注意し、無理のない範囲でご協力下さい。

<照明>

- 日中は不要な照明を消す。(節電効果5%)
- 照明器具を購入するときは、省エネ型の電球型蛍光灯やLED電球等を選択する。



中小企業大学校 研修の御案内

●お問い合わせ先

中小企業基盤整備機構近畿支部

中小企業大学校関西校

兵庫県神崎郡福崎町高岡

TEL.0790-22-5931

- タイトル 企業イメージを高める! Web戦略
- 日 時 平成25年7月29日(月)～7月30日(火) [2日間]
- 会 場 中小企業大学校 関西校
- 対象者 経営幹部(部長、工場長、部門長クラス、経営後継者)・
管理者(課長クラス)
- 受講料 21,000円(税込)
- 定 員 20名
- 特 色 ①Webメディアの特性と効果がわかります。
②自社が活用すべきWebメディアがわかります。
③自社が発信すべき企業メッセージが明確になります。
- 講 師 エクシー株式会社 代表取締役社長 柳田 生哉 氏

※詳細情報

<http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/list/25kansai/072650.html>

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	海賊とよばれた男(上)(下)	百田 尚樹	講談社/各1,680円
2	医者に殺されない47の心得	近藤 誠	アスコム/1,155円
3	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上 春樹	文藝春秋/1,785円
4	野心のすすめ	林 真理子	講談社/777円
5	怒れるおっさん会議inひみつ基地	田尾和俊・勝谷誠彦	西日本出版社/1,470円

香川県書店商業組合調べ

商工中金だより

独立行政法人日本貿易保険(NEXI)と連携し、「NEXI貿易保険付債権譲渡担保融資」制度の取扱いを行っています。

【「NEXI貿易保険付債権譲渡担保融資」制度】

貸付対象者	以下の2点を充足される方 ①NEXIの貿易保険が付保された輸出台金債権を保有する法定中小企業 ②商工中金の株主となって頂いている中小企業団体とその構成員の皆様 ◆中小企業等の皆さまで、現在中小企業団体の構成員になられていない方は最寄りの商工中金各支店にご相談下さい。
貸付形式	手形貸付 資金使途 運転資金 貸出通貨 日本円、米ドル
貸付条件	【貸付金額】(日本円)輸出台金債権額を上限 (米ドル)100千ドル以上、且つ、輸出台金債権額を上限とする 【利率】当金庫所定の利率 【利払方法】(日本円)一括前払い、(米ドル)一括後払い 【貸出期間】担保とする輸出台金債権の決済期日とする(原則1年未満) 【償還方法】期限一時
担保	①債権譲渡禁止特約がない輸出台金債権 ②NEXI貿易保険保険金請求権
保証人	必要に応じて提供いただきます
その他	融資に際しては当金庫の審査が必要となります。審査結果によってはご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。

なお、詳細につきましては、商工組合中央金庫 高松支店までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052 高松市瓦町1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 中小企業事業からのご案内 ●

下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫 高松支店 中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金 (固定金型)	6億円	特別利率③ <small>ただし、6年目以降は 標準利率+0.2%</small>	6億円	設備 15年 運転 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	特別利率①②③	5億4千万円	設備 20年 運転 7年
新事業活動促進資金 (固定金型)	7億2千万円	特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	特別利率①②③ <small>特省エネ利率</small>	4億円	設備 15年 運転 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	特別利率①②	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	経営環境変化 対応資金	7億2千万円	基準利率 <small>(※)</small>	—	設備 15年 運転 8年
企業活力強化資金	7億2千万円	特別利率①②③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 10年 運転 5年
海外展開資金	7億2千万円	基準利率 特別利率②	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	企業再建・ 事業承継支援資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 15年

(※)長期運転資金に限り、上限3%

(注)同一貸付でも、信用リスクや融資期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

● 国民生活事業からのご案内 ●

融資制度内容

経営環境変化資金(セーフティネット貸付) ~最大0.6%引下げ~

ご融資の対象	社会的、経済的環境の変化により、一時的に売上や利益が減少する等、業況が悪化している方
ご融資限度額	4,800万円 [生活衛生セーフティネット貸付(運転資金のみ)の融資限度額は5,700万円です。]
ご融資利率	基準利率(1.45%~3.00%) ただし、運転資金のうち次に掲げる要件に該当する場合は、それぞれに定める利率が適用されます。 ①雇用の維持又は拡大を図る場合は、「基準利率▲0.2%」 ②次のすべての要件を満たす場合は、「基準利率▲0.4%」 (イ) 認定経営革新等支援機関又は公庫の経営指導を受けて事業計画を作成すること (ロ) 最近の決算期において、借入負担が重く経営の改善に迫れていること

IT資金(企業活力強化貸付) ~情報化の推進を図るみなさま~

ご融資の対象	情報化の推進を図るみなさま(情報技術の活用により業務方法などの経営革新を図ろうとする方など)
ごお申し込み	①コンピュータ(ソフトウェアを含みます) ⑤関連設備(LANケーブルや電源装置など) ②周辺装置(モデムなどの通信装置など) ⑥デジタルコンテンツ関連設備(デジタル撮影・録音機器など) ③端末装置(多機能情報端末など) ⑦関連建物・構築物 ④被制御設備
ご融資限度額	7,200万円(うち運転資金4,800万円)
ご融資利率	基準利率(1.45%~4.00%) 特別利率A(1.05%~3.60%) 特別利率C(0.6%~3.10%) 特定の目的に使用される設備を取得する資金については特別利率Cが適用されます

※利率は平成25年6月12日現在です ※お申し込み、ご返済期間、担保・保証人の有無等により異なる利率が適用されます。 ※ご相談の結果、お客様のご希望にそえないことがあります。

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 URL:<http://www.jfc.go.jp/>

中小企業事業
〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階
TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423

国民生活事業 融資相談係
〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階
TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274

円安等による景気回復の 実感は得られず予断を許さない状況

2013年5月

5月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-21.3ポイントで前月調査の-20.8ポイントから-0.5ポイントの悪化となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-19.2ポイントで前月調査の-16.7ポイントから2.5ポイントの悪化、収益DI値は-27.6ポイントで前月調査の-18.7ポイントから8.9ポイントの悪化となり、昨年9月依頼8ヶ月ぶりに主要3指標全てで悪化となった。全国集計では8指標全てが悪化、昨年末から一貫して改善傾向を見せていた中小企業の景況は悪化に転じた。円安等による原材料高、燃料高などコスト増加要因によるデメリットが顕在化、価格転嫁ができずに一層の収益悪化が懸念される。

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
製 造 業	食料品									
	繊維・同製品									
	木材・木製品									
	印刷									
	窯業・土石製品									
	鉄鋼・金属製品									
	一般機器製造業									
	輸送用機器									
	その他									
非 製 造 業	卸売業							—		
	小売業							—		
	商店街							—		
	サービス業		—					—		
	建設業		—					—		
	運輸業		—					—		
	その他		—					—		
DI値(当月)		-19.2	-19.4	-10.6	-2.1	-27.6	-10.6	-4	-6.4	-21.3
DI値(前月)		-16.7	-25	-4.2	-6.2	-18.7	-20.9	-12	-8.4	-20.8

好 転	やや好転	変わらず	やや悪化	悪 化
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

DI(ディフュージョン・インデックス)…前年同月と比較した企業の景況感を示す業況判断指数

計算式: (「増加」「好転」した組合数 - 「減少」「悪化」した組合数) / 有効回答組合数 × 100

※ただし、在庫総数についてはDI値マイナスの場合には好転、プラスの場合には悪化の方向とします。

※中央会では、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役職員(19業種、48名)を情報連絡員として委嘱しており、本調査報告は、連絡員からの景況報告をもとに毎月集計しております。

業界情報

【食料品】

- 乾麺は天候不順で売れ行きが落ち、苦戦している。昨年より全般的に取引量が若干少ない。(製粉製麺)
- 出荷高は対前年同月比98.9%。(調理食品)
- 円安の影響により主原材料、副原材料、資材、燃料費などが軒並み価格上昇となっている。特に主原材料である畜肉・水産物・小麦などは収益状況に直接反映するため、価格対策が急がれる。また、冷凍食品価格表示適正化の行政指導による、量販店の動きと消費者の動向に注目したい。(冷凍食品)
- 組合員は全般的に前年度並の業況で推移しているものと推測される。お中元商戦が始まる6月～7月に売上増加を期待したい。当組合の5月単月の生揚げ出荷量の実績は、前年同月比95.7%。前年同期比(4月～5月)は99.9%の状況にある。本年度4月から生揚げ単価1リットルあたり5円(消費税別)の値下げにより、組合内部のキャッシュフローの減少、売上収益の減少が懸念されるが、可能な限りのコストダウンで対応したい。(醤油)

【繊維・同製品】

- 急激な円安のため、海外生産が多くを占める組合員企業は収益の低下で経営環境は厳しい状況にある。(手袋)

【木材・木製品】

- 組合で工業技術センター、デザイン協会、木材組合、オリブ協会と連携し企画を行い、平成25年度かが農工商連携ファンド事業の申請を行っていたところ採択されました。香川のオリブ、香川で生産された木材を使って安全安心なオリブファニチャーを製作し、県内はもちろん県外にも進出していきたいと考えています。(家具)
- ゴールデンウィーク明けが多少忙しい状況であったが、中旬から下旬にかけ一服感が漂っている。次なる商談は今ひとつで、活況予想が出来ない状況である。(製材)
- 大きな変化はないが、需要は減少気味である。(木材)

【印刷】

- 受注減少に歯止めが掛かり、底を打った感があります。本格的な景況回復は6～7月の受注次第です。平成16年に最低制限価格制度が導入されて以来、取り上げられた案件は1～2件と聞いています。一方で、入札価格の低価格化、ダンピング価格があります。制度の形骸化とそれをチェックする機能がないことが問題です。(印刷)

【産業・土石製品】

- 中讃地区の市況等に変化はあまり無いが、県東部エリアにおいては共同販売事業の実施にむけて動き出しています。(生コンクリート)
- 新年度となり、動きがでてきたようであるが、薄利の取引が多く利益確保にはなっていない。(石材加工)

【鉄鋼・金属】

- 5月は連休もあり、また新年度初期ということもありメーカーからの発注はそう多くなかった。それに加え原材料・燃料は高止まりであり、収益状況を圧迫しているのは事実。心配なのは7月からの電力料金の大幅値上げによる収益への影響である。(鍍金)

【一般機器】

- 日本経済を成長させる政策としての機動的な財政による公共事業の投資が、徐々にあるが県内中小規模の鉄工業にも仕事量の確保に繋がつつある。3～5月期の鉄工業界の景況は若干上向き気配を示し、3月以降は投資効果による需要増から鉄骨加工工業等に仕事が増え、生産高は前年同期に比べ、横這いから上昇に転じている。業種によって売上が好調なのは建設用クレーンメーカーで昨年以来、引き続き海外の資源開発工事の受注獲得が順調に推移し、大型製品を中心に生産台数は増加、高水準を維持し、高収益を確保しているこれらクレーンに関連する部品の機械、溶接加工工場は高操業が続いている。造船及び造船関連工業は2014年度が受注の激減による困難な経営状況になると思われるが、円安の影響と新資源エネルギーの需要に対処するための技術開発により、新規の商談、成約が期待できる。陸、船用压力容器製造は25年度末までの仕事量は確保されているが、値下げが激しくコスト削減で対応している。フェンス製造、碎石プラント、汚濁処理設備製造はセメント需要の上向きから公共事業の下げ止まり感が見られる。(一般産業用機械・装置)

【輸送用機器】

- 来年度のLNG船用のアルミ材料等の入荷が始まりました。ブラジルプロジェクト(ドリルシップ)の会議もあり、確実に軌道に乗せていく為、信頼関係を築き、計画を進めているようです。(造船)

【その他製造業】

- 今期は早期の大口注文の何件かが無くなっており、スタートとしては悪い状況となっている。骨業者は生産調整をしており、ピーク時に注文が集中した場合は骨不足も心配される。(団扇)
- 5月は毎年地元新作見本市の開催月で、今年も15・16日はバイヤー対象、17～19日は一般客向けで開催された。業者の来場はほぼ昨年並みで成約も例年並みであったが、一般客の来場者数が昨年より少なく、高額商品の売上げも少なかった。中国産漆の値上がりや円安による木材等原材料の値上がりにより、価格設定に踏み切る業者が増えてきた。(漆器)
- 5月の景況は4月より好転しています。5月の連休明けから天候が良くなるにつれて売上も少し上がってきました(綿寝具)。

【小売業】

- 取引状況は安値安定、取引量も少ない。(青果物)
- 石油情報センターの都道府県別石油製品小売市況調査では香川県のレギュラーガソリンが1リットル当たり148円と全国平均151.7円と比べて3.7円も安く、過当競争の過熱ぶりがうかがえる。また、一部業者の不当販売もあり、特に西讃地区での落ち込みが激しい。公正取引委員会の調査等もあるが、同じ業者が繰り返し「注意」を受けてもそれ以上の措置が取られないため、販売行為の「やり得」を指摘する声も出ている。(石油)
- 薄型テレビ、BDレコーダーが前年比50%前後と苦戦しているも、白物家電(冷蔵庫、洗濯機、エアコン)が良く売れている。電気料金アップのニュースで消費者は省エネ商品への関心が高く、買い替えが進んでいる。また、中国の環境問題(PM2.5)で空気清浄機が前年比159%の伸びです。また、LED照明器具が売れています。(電機)

【商店街】

- 昨年同様の商店街内に大型商業施設がオープンして間が無く、開業景気に沸いていたので、昨年と比べると人出は及ばないものの、客単価では堅調な様子うかがえる。消費マインドは上向きと言えるが、所得が増加しないと今すぐに消費が拡大するとは考えにくい。増税前の駆け込み需要までは、現状が続くのではないかと。(高松市)
- 5月6日に町内で「第2回いきいき元気フェスティバル」が行われました。人出も多く、賑やかな1日が送れました。ゴールデンウィークも良い天気にも恵まれ人出も多かったようですが、月の後半は人通りも減り静かな商店街に戻りました。日本の経済は右肩上がりだそうですが、商店街にはあまり影響がないどころか、悪くなっているように思えます。益々格差が広がっているように思えます。(高松市)
- アベノミクス効果で「消費が上向き」との報道があるが、地方の商店街では全く無縁の世界の話に聞こえる。5月は3月決算の組合の総会が続いたが、良い話は全く耳になかった。(丸亀市)

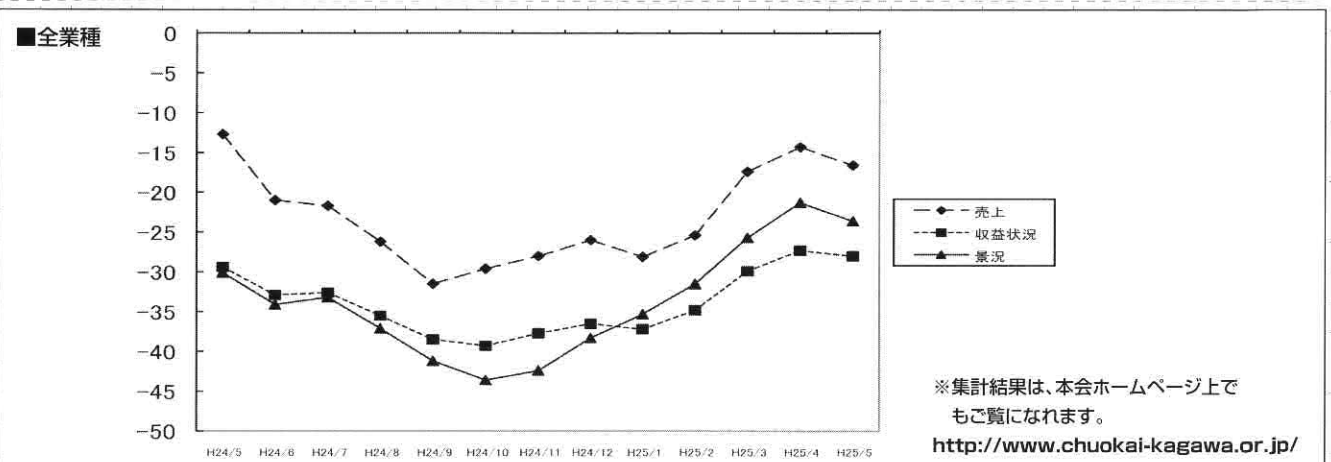
【サービス業】

- やや一服感が、それとも今の状況が平常なのかわからない。いずれにしても建設、土木が好不況に影響しているように思う。(ディスプレイ)
- 5月は対前年比17%の売上増であった。宿泊に関しては5月に入り直前での入込が多く、対前年比をかなりクリアできた。6月は低調で、対前年比は厳しい。全体に入込が少なく、動きがない。人気店は繁盛し、一般のホテルは毎日が日曜日かと感じるほど現段階では少ない。今後も8月のイベントが重なっている時期のみ問い合わせが多く、一番の心配は小雨による湯水での宿泊利用の減少である。(旅館)
- コンサルタントに仕事が続いている状況で、スマートフォン等の新規開拓が増えている。(情報)
- 美容学校の入学者数の減少は、少子化の流れの中で避けられず、今後地元美容業界への人材流入は厳しさを増し、経営手腕によっては淘汰される時代を迎えることになると思われます。(美容)

【運輸業】

- 景気の低迷により営業収入、輸送人員とも減少傾向に歯止めがかからず依然として厳しい経営状況が続いている。(タクシー)
- 4月分の高速道路通行料金支払額の対前年同月比111.8%と3月分の110.3%を上回る結果となった。3組合員増加によるETCコーポレートカード枚数は3%の増加であったが、3月4月ともこれを大幅に上回る増加であり、アベノミクス効果の影響かと思われる。ただ、軽油は円安で高止まりとなっており、経営環境の厳しさに変わりはない。(トラック)

全国集計による主要3指標(DI)の推移(対前年同月比)



組合企業訪問 頑張ってます

株式会社 かがわ魚食サービス

- 所属組合 高松中央市場鮮魚協同組合
- 役職名 代表理事

会社の概要



代表取締役 島 康訓

- 代表取締役 島 康訓
- 設立 平成11年2月
- 資本金 3千万円
- 従業員数 13人
- 本社住所 〒760-0062
高松市木太町2024番地1
TEL 087-831-6333
FAX 087-833-9444
- 事業内容 魚の卸販売、鮮魚加工、病院給食、味噌漬
けの販売



▲会社全景

沿革

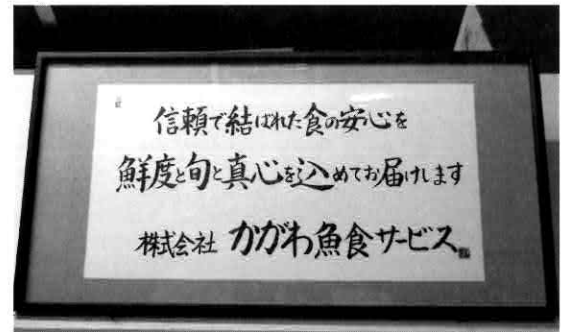
当社は、高松市瓦町の鮮魚小売店が原点で、島社長が3代目になります。近隣の住民や飲食店を中心に鮮魚を販売していました。

平成11年に現在の木太町で「(株)かがわ魚食サービス」として設立し、島社長が初代の代表取締役となり、卸売りを中心に瀬戸内などの鮮魚を販売しています。

病院でも美味しい魚を

主な事業の一つに、病院給食を行っています。きっかけになったのは島社長自身の入院でした。1日中ベッドの生活の楽しみは食事だけ、その時に出てきた食事があまりにも残念な内容でした。特に魚については良く知っているだけに、悲しい気持ちになり、「お客さまをこのような気持ちにさせてはいけません。入院しているお客様にも美味しい魚を食べてもらいたい」と新鮮な魚を香川県内のいくつかの病院に納めています。

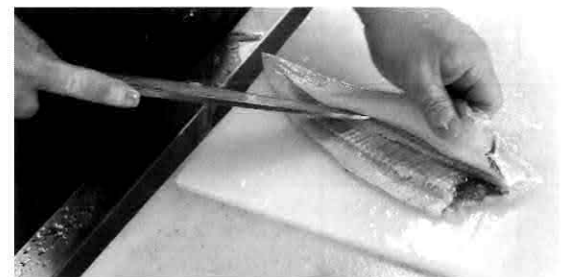
そのような経験もあり、お客さまの気持ちになることが基本」と考えるようになり、現在の経営理念「信頼で結ばれた食の安心を鮮度と旬と真心を込めてお届けします」にたどりつきました。



▲掲示している経営理念

お客様の要望にお応えして

和食と洋食では魚の捌き方が異なります。ホテルにお届けするムニエル用の舌平目は三枚に下ろします。また病院に届ける魚は50グラムや80グラムなど、切り身の形や大きさの統一、骨を取り、産地や日付の表示、冷蔵車での納品など品質管理を徹底し、手間暇をかけお客様の要望に応え鮮魚の加工をしています。また、同じ魚でも美味しいと言われる産地の魚を全国から取り寄せるなど、自己研鑽にも励み、多種多様な要望にもお応えした魚の卸販売をしているため、事務所はわかりにくい場所ですが、繁盛しています。



▲げた(舌平目)の三枚下ろし

瀬戸内の魚の普及に努めて

島社長はラジオやテレビにも数多く出演し、瀬戸内の旬の魚を紹介しています。

ラジオは、月に一度、RNCラジオに出演し、15年目を迎えました。また、10年前からのテレビ出演は月に一度、NHK「ゆう6かがわ」の「とれたてマーケット」に出演しています。

先月6月10日放映ではマナガツオとキュウセン(ペロコ)の特徴、お店で買うときのポイント、美味しい調理方法などを紹介しました。



▲NHKでの収録の様子

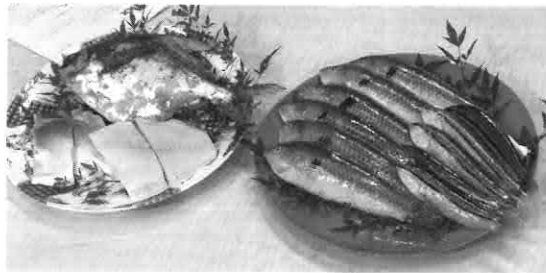
「とれたてマーケット」は毎週月曜日に香川県産品を中心に野菜、果物、水産物、花き、それぞれの市場の方を迎え、旬のお得な情報を紹介しています。

瀬戸内の今が旬の魚

番組で紹介された、マナガツオ、キュウセン(ペロコ)は瀬戸内の夏を代表する魚です。

マナガツオはマンボウの様な面白いカタチをしています。かつおが取れない瀬戸内の漁師がこれぞ「真のかつお」という意味でこの名で呼ぶようになったと言われています。お店で買うときは銀色の鱗がたくさん付いて光り輝くもの、切り身の時は身の色が濁っていない透明感のあるものが新鮮なのでお勧めです。調理方法は刺身、照り焼、みそ漬けがお勧めで、身に水分が多い魚なので煮物には不向きです。

次にキュウセン、香川県ではペロコやペラと呼ばれ、赤ペロコと青ペロコがあります。生まれたときはすべて雌で赤色です。成長課程で青色の雄に変わるものと赤色の雌のままのものに別れる雌雄同体の魚です。調理方法はめりを取り、塩焼き、南蛮漬け、大きく新鮮なものならば刺身がお勧めです。なお、愛媛県や徳島県では食べないそうです。



▲マナガツオとペロコ(右)

子どもの魚離れ

子どもが魚を嫌う理由は「骨があるから」、「食べるのが面倒」、「食べるのに時間がかかる」、「においが嫌い」などと言われています。

魚にはたくさん栄養があります。中でも、代表的なものは「EPA」や「DHA」です。「EPA」や「DHA」は、血液をサラサラにする効果があることから、生活習慣病の予防・防止に役立つとされていますが、そのほかにも、花粉症やアレルギー疾患、精神の安定、免疫力の向上などの効果も期待されています。

また、子どもの脳の発育に重要な役割を果たすとも言われています。健康な毎日を送るために、魚食の魅力を見直してみませんか。



▲新鮮なマナガツオと鯛

社長コメント

魚の加工、卸売り中心に事業をしている我が社は、今後も衛生管理を徹底し、社員が自分で考え行動できるよう、社員が社員を教育できる仕組みをつくり、加工技術の向上に努め、新鮮で美味しい魚を販売していきたいと考えています。

また、子どもからお年寄りまで、好んで食べていただけるよう、瀬戸内の魚食の普及の促進につとめてまいります。

ご活用ください。 産業雇用安定センター

当センターは、厚生労働省と経済・産業団体の協力により設立された公益法人で、「失業なき労働移動」実現にむけて、全国ネットで出向・研修等の支援業務を行っています。

会社間の人材移動

雇用の拡大

事業の拡大・組織の強化等

雇用の縮小

事業の再編・縮小・閉鎖等

無料の職業紹介

情報提供・相談・斡旋の
費用はかかりません。

- 人材の受入（途中採用）や人材の送出（雇用調整による再就職支援など）をご検討の企業様からのご相談をお待ちしています。
- 離職を余儀なくされる方に、ご希望をお聞きし求人開拓を行い再就職のお手伝いをいたします。

●お問い合わせは



公益財団法人 産業雇用安定センター 香川事務所

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20（高松センタービル8階）

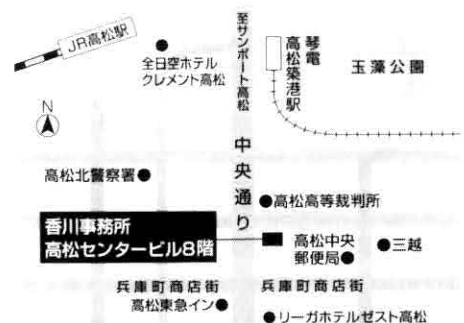
TEL.087-851-1011

ご利用時間

9:00~17:00

FAX.087-851-1014

（土・日・祝日は除く）



URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/> E-mail kagawa-j2@sangyokoyo.or.jp 左記のセンターホームページでは求人情報を提供しています。